

四国電友会会報

第 85 号

6 年 1 月



目次

年頭ご挨拶（電友会四国地方本部長）	2
年頭にあって（NTT取締役四国支社長）	3
NTTだより	4
市外通話割引サービス	
東四国秋季国体に際して	
あったか「保養所」得トクパック	
明日の情報案内部門を目指して	
私は今	6
健康のページ（NTT松山病院院長）	12
NEWS	13
電信電話記念日の表彰	
ボランティア活動賞の受賞	
秋の叙勲	13
余 栄	13
敬 弔	14
テルウェルだより	14
お知らせ	15
電友会団体傷害保険の募集開始	
余技作品展の開催	
年金受給者の処遇に関する陳情書の提出	
サークルだより	16
本を紹介	16
随 想	17
高市 沖見	
猪谷 嘉夫	
俳句（やまもも句会）	18
表紙の言葉	18

年頭ご挨拶

電友会四国地方本部長

六 車 美 一



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にとって、平成六年がよい年でありますようお祈りいたします。

四国電友会は、会員各位のご理解とご協力のお陰で、会員数は年々増加を来しており、また、順調に活動展開を見ておりまして、ご同慶の至りでございます。

しばしば、私、見たり聞いたりするのですが、電友会員の方々の中には、地元での活躍者、例えば町内会長、公民館長、民生委員、老人会やボランティアグループの会長、その他地元の世話役、サークルや同好会の会長等々、多方面にわたるいろいろな役職を背負って活躍している方々が大変多い。そしてよくその職責を果たし、信望を博しているということです。

しかも、こうしたことは、N T T以外のO Bの方々と比べて、一段と多いと言ってもよろしい様であります。

私の推測ですが、こうした好評の発生原因は、電電・N T T在職中に自然と身

についた判断力やノウハウが、O Bという立場になっても、一般社会の中で発揮されている結果だろうと考え、われわれとして、大いに誇りにしてよいことだと思えます。

また、こういうノウハウや地域社会における皆様のカオを、N T Tの支援にも役立てて頂きたいものであります。俗に言う「外野」から「縁の下」からの支援が、N T Tでは大いに必要かつ有効だとお見受けします。

昨年は、わが国の政治、経済、外交のいずれをとっても、未曾有の激動、波瀾に富んだ年でありました。

N T Tにおかれては、近年見られなかった程の大きな施策が打ち出されました。即ち、新電電レベルまでの市外通話料金の値下げ、公衆電話のコスト割れ解消のための値上げ、思い切った現場機関の統廃合等による二三十万人から二〇万人体制への着手。そして高度情報化社会に向けて、インフラ面では全国に高度通信網を展開するため、設備の改良・高度化への大幅投資等々がありました。今年は、これらの施策が頼もしい効果をもたらしてくれることと思えます。

次に、私達にとって関心の浅からぬ年金について述べておきます。

高齢化社会の到来と年金財政の先行きに対処するため、これまでしばしば新聞に登場して来ています通り、年金の支給開始年齢を、現行六〇歳から六五歳に段階的に引き上げるといふ事案は、一二月

の時点で固まったかに見えます。

但し、残された問題としては、一つ目が六五歳支給開始の制度を平成何年から始めるか、そして、そこに至までの段階をどう設定するかという事と、二つ目が、六〇歳から六五歳までの間が無年金となるのは酷であるから、幾らかでも支給出来るようにいわゆる部分年金を支給すべきだということの二点であります。

これは、今、厚生年金について論議されているのですが、この結論が果たならば、次には共済年金についてもこの趣旨が及んで来るでしょう。

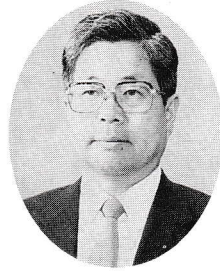
われわれの年金額の改善や年金・老人に關連の税制改正について、電友会としては、引き続き国会議員、政党や政府の關係先へ陳情を行っていましたが、大勢から目を離さないことが重要だと思えます。

電退連が連合体から電友会という全国一本の組織に変わったのは、平成二年四月一日でありました。今年四月で五年目に入ることとなります。この五年目を一つの節目としてとらえ、何か記念になる事を行ってはどうでしょうか。小規模のことであっても、将来、会の発展に役立つようなものを見て見たいと思えます。寒い冬に入りました。年をとると風邪を引き易く、病気に罹り易いものです。不運にも、いま病気をしておられる方々には、早くご快復の程お祈り致します。皆様のご多幸、ご自愛を祈念しつつ新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭にあって

NTT取締役四国支社長

千葉 正人



電友会の皆様、明けましておめでとうございます。どうぞい

ま。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にて、よいお年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素よりNTTの事業に対して深いご理解をいただき、また各種の施策の実施にあたりご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年は、電友会が全国組織に統一されてから五年目に入りますが、年毎に充実し、四国の会員数も約三、六〇〇名と、ますます御発展を続けられておりますこと、まことに御同慶のいたり存じます。さて、民営化後八年が経過いたしました。

この間、全社一丸となって各種増収・合理化等の経営改善施策を推進してまいりました。しかしながら、度重なる料金値下げ、新規参入業者（NCC）との熾烈な競争によるシェアの低下と長期化する景気の低迷によるダイヤル通話料収入の減少等により、財務状況は極度に悪化しております。

とりわけ、NCCへのシェアの流出は憂慮すべき事態となっていることから、四国支社としては、昨年来シェアの防衛・奪還を最重要課題として、NCC対策プロジェクトの設置、支社社員の支店への応援派遣等支社・支店が一体となり、

シェアの防衛・奪還活動に懸命に取り組んでいるところであり、市外通話料金については、昨年一〇月に料金面でのキ

ャッチアップを断行し、減収減益を覚悟のうえで大幅な値下げを行うとともに、距離区分の統合、深夜割引率の拡大等全面的な見直しを行ったところであり、しかしながら、四国における市外通話のNTTシェア（推定）は、平成五年九月には、七一％でありましたが、同年一月にNCCが追随値下げした以降は、六三％を切るまで低下しており、最悪の状況となっております。

更に今年には、「テレジョーズ」に加え、昨年一月にサービスを開始した「テレワイズ」という、市外通話料金の全日割引サービスを対抗商品として積極的に販売し、シェアの防衛・奪還活動をより一層強化する考えであります。

また、真の競争に立ち向かうための体制作りと経営基盤の強化に向け、営業窓口の見直し、設備運営体制の見直し、社内システムであるカスタムの導入等新たな経営改善策に全力をあげ取り組んでいくこととしております。

一方、NCCとの競争は、これまでの料金競争からサービスク競争へ推移していくものと思われ、それを展望いたしますと、新しいサービスを提供していくうえでのディジタルネットワークの構築は必須であり、そのための効率的な設備投資を鋭意推進しているところであり、

その一環として、皆さんもテレビCMで御存知のことと思いますが、昨年七月には、高度で多様なサービスを提供する基盤となる光ファイバー基幹伝送路網に

ついて、四国の主要都市を結んだ八の字ループ網を完成させました。以上のような取り組みに加え、今後一層の激化が予想される競争に対応し、将

来にわたって安定した事業の発展を期すためには、現在の料金体系をコスト構造に見合った適正なものにすることが不可欠であります。

その第一段階として、昨年一〇月一日に公衆電話の料金改定を実施したところであり、同様にローカル部門である基本料、市内通話料、番号案内料の見直しも是非必要と考えております。

そのためには、世間の皆様に見えるような経営改善努力を行うとともに、サービスの向上に努め、真にお客様の信頼が得られ、見直しについてのご理解がいただけるよう取り組みねばならないと考えております。

今、NTTは、様々な経営課題を抱え、私たちは民営化以来、最も厳しい状況に直面しております。

この時こそ、我々全社員は、知恵と情熱を結集して困難に立ち向かうとともに、お客様に満足していただくサービスを提供するため、トピックス活動等も更に推進し、「お客様に信頼され、更なる発展性を秘めたベストサービスのひかるNTT四国」の実現に努力する覚悟でございます。

今後とも、諸先輩の皆様方には、販売情報の提供等にご協力いただきますとともに、地域の生の声も積極的に聞かせていただき、地域社会とNTTとの力強い接点として、電気通信事業の発展のためご指導、ご支援を賜りますようお願いする次第でございます。

最後になりましたが、皆様方には、スポーツや趣味を通じて若々しい日々を送られ、ますますご健康で多幸であられますよう、また電友会のご繁栄を心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



NTTだより

市外通話割引サービス

「テレワイズ」新登場

NTTでは、「テレジョーズ」に続く通話料金割引サービスの第二弾として、去る一月一九日から「テレワイズ」の販売を開始しました。

このサービスは、毎月一定額をお支払い頂くことにより、**通話時間帯や曜日に関わりなく**、市外通話が一定の割引率で割安にかけられる月極めの通話料金割引サービスで、「テレワイズ10」と「テレワイズ15」の二つのタイプが用意されています。

「テレワイズ10」は、毎月五五〇円を支払うことにより、市外通話が時間帯や曜日に関係なく、一律一〇%割引になるというもので、月に五、五〇〇円を超えて利用すれば、通常の市外通話より割安となります。

また、「テレワイズ15」は、毎月一、五五〇円を支払うことにより、市外通話を一律一五%割引くというもので、月に市外通話を二万円を超えて利用すれば、「テレワイズ10」より更に割安ということとなります。

既に「テレジョーズ」をご利用頂いているお客様も多いので、どちらがお得になるかは、営業窓口でご相談ください。(裏表紙の広告参照)

割引料金早見表

通常の市外通話料金(円)	テレワイズ10 (定額料550円・割引率10%)			テレワイズ15 (定額料1,550円・割引率15%)		
	お支払い金額(円)	お得額(円)	実質割引率(%)	お支払い金額(円)	お得額(円)	実質割引率(%)
5,500	5,500	0	0.00	「テレワイズ10」をご利用ください。		
6,000	5,950	50	0.83			
7,000	6,850	150	2.14			
8,000	7,750	250	3.13			
10,000	9,550	450	4.50			
12,000	11,350	650	5.42	11,750	250	2.08
15,000	14,050	950	6.33	14,300	700	4.67
20,000	18,550	1,450	7.25	18,550	1,450	7.25
30,000	27,550	2,450	8.17	27,050	2,950	9.83
50,000	45,550	4,450	8.90	44,050	5,950	11.90
100,000	90,550	9,450	9.45	86,550	13,450	13.45

■部分が最適なサービスプランの範囲とお得額です。
*お支払い金額には定額料を含みます。

なお、OBの皆様には、NCCへの対抗商品として、NTTのシェアの確保・拡大につながる、この「テレワイズ」のPRに一層のご協力をお願いします。

東四国秋季国体に際して

出会い・競い・そして未来へをスローガンに、第四八回国民体育大会が、四〇年ぶりに四国の香川、徳島の両県で開催されることになりました。

九月に夏季大会が終わり、いよいよ一〇月二四日から六日間の日程で、秋季大

会が県下一円の会場で開催となつたわけです。

このため、NTT高松支店エリアでは、二九の競技種目が二一の会場に分かれて競われることから、テレホンカードの店舗販売も、各会場で行うことを計画してしました。

しかし、NTT高松支店では、丁度その時期、支店を挙げて市外通話料金値下げへの取組みが急ピッチで進行中でした。そこで思案した結果、この際OBの力をお借りしようと、香川電友会へ事情をお話すると、ボランティアNTT高松O

B会の協力(単人員五三名、延人員八六名)が得られることになりました。

出店販売では、どういふものかお客が一時に集中するかと思えばまたしばらく遠のき、この繰り返しが続くのですが、OBの皆さんは、一日中お客の呼び込みを熱心に繰り返し、お客には笑顔で語りかけ、「ありがとうございます」の言葉も素直に出しておられました。在職中にはなかった経験をされた先輩方もおら

れたのではないのでしょうか。

それなのに、まだ自らも記念にとテレホンカードを買って下さいました。

卒業生が母校を想い、後輩を想うがごとく、私達はそこに心の絆といったものを強く感じ、喜びとともに熱き想いを胸にしたのであります。

幸い天候に恵まれ、東四国国体が成功裏に終わったように、テレホンカードの出店販売も、諸先輩のお陰で成果を上げ

あつたか「保養所」得トクパック

ちよつと「いい旅」してみませんか!

奥道後保養所・屋島保養所では、職員一同「ご満足していただけるサービス」をモットーに皆様のお越しをお待ちしています。

- 1 期間 平成6年1月17日(月)～2月28日(月)
ただし、土・日・祝日は除きます。
- 2 料金 お一人様 6,000円(税・サービス料込み)
(1泊2食 お銚子又はビール1本付)
- 3 申込先 直接保養所へ(お申込みはお二人様から)
奥道後保養所 (0899) 77-0411
屋島保養所 (0878) 41-9530
- 4 その他 ご利用にあたっては、「NTT共済組合保養所メンバー証」をご持参願います。

OBの皆様方への特別企画です



国体会場での出店風景

ることができました。OBと現役が一体となつて、出店販売が実現したことは、やはり心の絆の尊さとも申しましようか。互いにいい思い出になるものと信じております。

暖かいご理解とご支援を賜り、本当にありがとうございます。紙面をお借りしまして、サービスセンタ社員共々お礼を申し上げます。

最後になりましたが、先輩の方々のご健勝をお祈り致します。

(高松支店公衆電話サービスセンタ所長)

明日の情報案内部門を目指して

四国情報案内事業部

電話運用という名称で皆様の記憶にある私たちの職場も、以前の手動台からコンピュータを介したANGEL台（電子番号案内台）・新手动台（接続台）の導入と費用負担の適正化（番号案内の有料化）等の変遷を経て、その名称についても、電話運用から情報案内へと、交換取扱者もオペレータからコミュニケーターへと変化してまいりました。

今回は、本誌を拝借し、今後より一層のお客様サービス向上と、自立的な事業運営を目指して、大きく脱皮していこうとしている情報案内部門の動向についてご紹介させていただきます。

まず、四国で一日約八五〇〇〇コールを取扱う一〇四の対応方法については、お客様から各事業所、各取扱者によって「対応がまちまちである」「取扱いに一性がない」等さまざまな指摘を頂いていること、更には費用負担適正化により、一案内につき三〇〇円頂くようになったことから、「お客様の第一声から電話番号の回答まで」を一人称で取扱い、正確・迅速・親切で、一定の統一されたサービス（対応）で番号案内という「商品」を提供しなければならぬとの考えに基づき、平成五年一月から簡潔で明瞭な対応ができる「NTT対応用語」を中心に、NTTブランドとしての対応の確

立を目指し全国的に取り組んでいますので、一度一〇四をご利用していただきご意見をお聞かせいただければと思っております。

次に、全国ベースで約一七三五億（平成四年度）の赤字部門である情報案内部門における収支改善等、自立化に向けての四国における施策についてお話をさせていただきます。

まず業務運営形態の変更に伴う事業所の集約ではありますが、ANGELシステムのランダム受付機能の効率的活用を図り、昼間七事業所（大洲・伊予三島・土庄・観音寺・阿南・須崎・安芸）の無手動化と終日事業所（八幡浜・新居浜）の昼間化を五年度末に実施し、これによりブロック（県域）単位でのトラヒックに見合った、より効率的な業務運営を行う事としています。

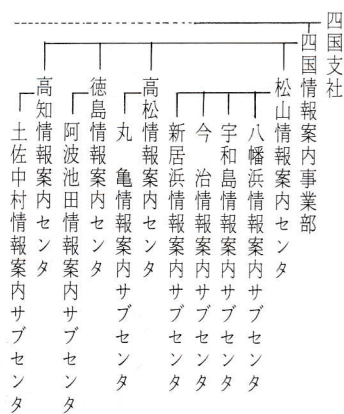
なお、平成六年度の体制は別表のとおりとなります。

又、新規採用が望めない現在、人員減耗に伴うオペレーション業務の稼働確保については、業務の委託（パート雇用）により対処するとともに、新ANGELシステムの導入（平成七年度3/4半期予定）により、現在のお名前とご住所をお聞きしての番号案内に加えて、人手が介在するに相応しい新サービスとして、ファジイ案内・アシストサービス等のサービスの創出等、情報案内部門全体として活力ある自立化した事業運営を目指すこととしています。

このように、大きな業務改善施策が目前に見えていますが、情報案内部門は、女性の職場の代表としてさらに頑張ってくださいますので、先輩諸姉の温かいご声援をお願いいたします。

（別表）

平成六年度以降の組織



私は今

◇ 阿部 寛 (松山)

光陰は矢の如しとか、馬齢を重ねて七三歳。地区の広報委員会会長ほか各種団体の役員一〇余りを兼任。お陰様で毎日お役に立てればと思いつつながら過ごしています。

ところがこの四月に脳梗塞という思いもしなかつた病魔におそわれ、二カ月程の入院を余儀なくされました。来年あたりからポツポツ引退を考えて

います。これからの余生を有意義に過ごすためには、どうしたらよいか思案しています。お知恵をお貸しく下さい。

◇ 井内 シカ (高松)

主人が亡くなり早四年。体調を崩し病院通いでしたが、周囲の人達に助けられ今は元気になり、毎朝、近くの神社にお参りしています。

新鮮な空気を吸い階段を上がると、苦痛もなく、爽やかな気持ちで家内安全の祈禱を済ませ、境内に集まっている大勢の人と「お早う」の挨拶を交わし、ラジオ体操をして解散です。

また、民話、健康体操と楽しんでおり、文化祭で発表した時は、久しぶりに若返った気分一杯でした。週末には孫達の元気な声を心待ちにしているこの頃です。

◇ 安藤 房子 (坂出)

私に退職を決意させた孫も高二、下が中一と成長しました。その間、九〇歳で三年前に去った養母を連れて歩んだ一七

年間は、本当に駆け足の人生でした。今は家族を送りだすと、家庭菜園に汗を流し、庭の手入れをする主人の手伝いをするなど気楽で、電友会報に寄せられる方々の消息を懐かしく読ませて頂いています。

今後は地域や自然との触れ合いを大切に、楽しく豊かな交流を続けて行きたいと願っております。

◇ 石本 光寛 (赤岡)

退職して早七年余りになりましたが、単調な生活のためか、一年がすぐに過ぎていく感じがします。

退職後は町内自治活動、読書、教養講座の受講、庭木の手入れ、適度な運動等で自由に毎日を送っております。

現在、慢性肺炎と軽症高血圧で通院治療中ですが、体調はまあまあです。老年期に入り、心身共にこれに順応することの大切さを感じているこの頃です。皆様のご多幸をお祈りいたします。

◇ 浦田 泰典 (松山)

ヒョウロクスズメにクシヒデアポロ、後はイコイではいさよなら、今は亡き飲み友達の声が聞こえてきて無情です。お蔭様で私は至って元気。日々是、畑に囲碁にと精出していきます。

暮のほうは、松山市から生涯学習指導者として認められ、最後のご奉公です。担当はボケ防止のための囲碁指導。幸い日本棋院から五段の免状をもらい、勇気付けられています。

生き甲斐と幸せをつくる特效薬囲碁。少しでもお役に立てばと念じています。

◇ 大岩 正雄 (徳島)

平成五年一〇月二二日、勝浦町と多良町の町境が、東四国国体の炬火引き継ぎ点となりました。

当日、私は朝早くから飯谷町菊寿会の

役員として、この日のために用意されていたサルビアの花を取りに行くなど、中継点の設営に協力して炬火の到着を待ちました。

一四時二〇分頃ランナーが到着。各町の人達の歓迎を受けて、炬火リレーは無事に終わりましたが、徳島県で国体が開催できるのは嬉しいことです。

炬火を持ったランナーが、走り去って行くのを何時までも見送っていました。

◇ 岡 建夫 (松山)

通病を退職後、第二の職場に約七年間勤め、サラリーマン生活を卒業しましたが、初めの間は気が抜けたようでしたが、今は何時でも好きな事が出来ることに喜びを感じています。

天気の良い日は自転車で道後温泉に通い、城山に登り、石手川の土手を歩くなどして健康維持に努めると共に、写経をしたり、神社や寺院へお参りして、心の安らぎを得る糧とさせて頂いています。これからも「日々是好日」であることを願っています。

◇ 片岡 一夫 (高松)

第二の職場、四国移動通信株を平成三年に退職し、昨年の四月から高松市立木太公民館に勤めています。

各種講座の計画実施や各種同好会のお世話のほか、木太町郷土誌を作る会の事務局として郷土誌の編集などにたずさわり、忙しい毎日を過ごしております。

今までは、地元のお世話になるばかりでしたが、これからはそのお返しをしなければと思っております。

趣味としては、書道とサヌキの歴史の講座に通っております。

◇ 形岡 功 (土佐清水)

年月の立つのは早いもので、公社を退職して一三年になりました。

退職と同時に保護司等を委嘱され、当市の社会福祉協議会の一員となって、微力ではありますが、地域に根ざした福祉の向上と更生保護に頑張っています。

最近、趣味を通じての人との触れ合いも大切ではないかと思ひ、吟詠の会に入会させて頂き、健康保持を兼ねて励んでおります。

皆様のご健康をお祈りいたします。

◇ 神原 邦正 (観音寺)

退職して丸一年が過ぎようとした時に心筋梗塞を患い、一命は取り留めたが身障者手帳を持ち歩くようになった。

外見上は嘘だろうと言われる位、元氣そうに見られる。幸い社会復帰ができ、家から近い建材店の經理のお手伝いのようなことをしている。このため、簿記・販売士などの勉強をして資格もとった。そうしたことが、ボケ防止にいいのではないかと思ひ、なおその他のアクションを進めているが、果して実効があるだろうか。

地域では自治会の世話をさせられてい

る。

◇ 雉尾 修一 (高松)

退職して早二年が過ぎました。毎日、新聞二紙の隅々まで目を通し、切り抜きを日課にしています。

運動不足解消に我流の柔軟体操、打ちっぱなし、歩行に努めています。一日一万歩は難しいのが実感です。

庭いじりや料理にも挑戦しています。シクラメン等の花類は種から育てて楽しんでおり、香川では大変難しいと言われている桜桃の栽培に成功、今年は二百余り結実しました。来年は天候が良ければ鈴なりも期待出来ると思っております。

◇ 栗若 康子 (徳島)

これという趣味もなかった私、退職後数年はカルチャー講座を梯子してました。

現在は、郷土史を研究する阿波郷土会と、仏教美術を研究する婦人グループに入会しています。

昔、京都広隆寺の弥勒菩薩に魅せられて以来、仏像や美術展巡りを夢見ていました。月一回の例会、時折の県外研修等が楽しみで、平和な時代、健康で平穩な日々に感謝しています。

退職して一〇年、自分なりのライフプランを見つめ直そうと思う昨今です。

◇ 雀部 恵子 (高松)

退職後、好きな英語の勉強を始めたり、

コーラスの教室に入り、学生時代の懐かしい歌を思いきり歌い、時には自分の声に聞きほれながら、ストレスの解消もして、楽しい一時を過ごしています。

また、二年程前からN.T.T.O.B.サロン「たまも」が開設され、毎日、二〇人余り訪れるO.B.の方々のお世話をさせて頂きながら、O.B.ボランティアの会にも参加し、何かお役に立てればと、忙しい中にも充実した毎日を送りたいと願っています。

◇ 白石 孝照 (松山)

満七五歳を迎え、敬老会に招かれたりすると、急に老化が進行した感じがします。

体質の関係もあり、以前から特に血液の循環に気を使っております。

まず起床時のタワシ摩擦。不定時の松山城や石手川公園の散歩。そしてケール(西洋キャベツ)の青汁(無農薬、自家栽培、自家製造)を作って毎日飲むことです。

未だに血圧の薬を続けている状態ですから、その効果のほどは疑問です。

◇ 新谷 義之 (松山)

親孝行に努めるこの頃。テルウェル退職後は、現職時代常々思っていた先の短い両親の恩を、どうすれば万分の一でも返せるのか。手近なことだからと、先ずは高知の手結、四国カルスト、城川温泉等、年間三カ所の小旅行や機会あるごとの食

事等々を実行し、両親への思いを新たにしているところであります。

童子の教えに「父の恩は山よりも高く、母は海よりも深し」と書かれているが、私は、今の童子の心境に立った思いで、第二の人生を送っています。

◇ 砂川 保 (三本松)

統一地方選へ出馬したのが昭和五八年、退職以来一〇年余りが過ぎました。途中、三年半のブランクはあったものの議席に返り咲くことが出来ました。今は香川県議会議員として、県政発展のため努力中です。

自分では若いと思っているものの、今年五〇歳を数えるに至りました。今日まで数多くの人との出会い、また、その中で数多くの貴重な経験は、私にとって大きな財産です。

一日一日の今を大切にして、更に前進をと思っています。

◇ 瀧本 義規 (高松)

昭和六一年に退職しました。健康維持のため、毎朝、近くの山にある神社に、四〇分程歩いてお参りしております。

山頂からは屋島や五剣山、晴れた日には瀬戸の島々や瀬戸大橋も見えて、素晴らしい眺めです。

また、香川電友会「ふる里を歩く会」に入会し、毎回参加して郷土の歴史を学び、会員の皆さんとの親睦を深めています。

一方、趣味の方は愛用のA Fカメラを携え、東奔西走しております。

◇ 玉川 頼男 (大洲)

早いもので、退職して四年近い歳月が過ぎてしまいました。

私は元気で、毎日、午前中は少しだけの山畑に色々な果樹を植え、収穫の喜びを楽しみに汗を流し、午後からは郵便局の仕事を、短時間ですが手伝っています。

日曜日は好きな魚釣りに遠出して、魚に餌を与えるのが趣味といったところですが、健康であることの幸せを、今、ゆっくりと噛みしめております。

◇ 多田 博男 (高松)

第二の職場、四国移動通信を退職して二年目に入りました。N T Tも目まぐるしい変遷と競争の中で、本当に大変だしと感じている今日この頃です。

これと言ったライフスタイルもありませんが、時には町の図書館に向き文学書等、手当たり次第に借用しておりますので、今では少し歴史物に興味を抱くようになりました。

健康なので、週二、三日は故郷に通って、いちごの栽培や野菜作りを手伝い、育てることの楽しみを味わっております。

◇ 田中 昌 (松山)

早いもので、退職後一五年。この四月から老人保健法の適用を受ける年になりました。

雨の日も風の日も、一日も休まず早朝散歩を続けております。お陰で健康に恵まれ、食が進んで困る程です。

さて、人生八〇年の時代といわれますが、後何年生きられるか。

第二の職場は自宅が事務所だった関係で、何時の間にか出無精になってしまいました。今後は出来るだけ外に出て、目と耳とで新しい知識を吸収しよう。心掛け、老化防止に努めることにします。

◇ 長尾 豊晴 (安芸)

退職して二三年が過ぎました。年齢は八二歳です。

退職後、当時の公社在職中から唯一の趣味でありました写真の経験を生かして、小さな写真店を始め一〇年余り続けましたが、体力的に無理であるようになりましてので閉店いたしました。

それから数年後に、右の眼が緑内障に罹り手術を受け、退院後の現在も月一回の通院を続けております。残り少ない僅かの余生を、精一杯長持ちさせようと懸命に努力いたしております。

◇ 長田 重徳 (佐川)

退職してから早六年前が過ぎました。N T T・T Eの電敷調査をやりながら八〇坪余りの畑を、今では持病となった腰痛を連れて、四季折々の野菜作りの毎日です。虫の食わないものは人間様にも悪いとか、農薬をあまり使わず虫と分け食いです。

また、昨年からは六〇の手習い、とは言っても習うより慣れるで、ボケ防止になればと竹細工を始め楽しんでおります。皆様もおげんきで……。

◇ 西村 義一 (宿毛)

退職後五年程は、あれやこれやと仕事で結構精出しておりましたが、段々先細りになり、この頃は自分のことが精一杯の状態です。

魚釣り仲間と日暮れまで座ったり、あちこちのイベントの見学や、手弁当で山歩きを楽しんだりしております。

自由な時間割をカレンダーに書き込んで、とにかく体を動かし、家内と二人で健康に気を配り、家族七人の笑顔が一番よい薬と思っている昨今です。皆様のご健勝をお祈り致します。

◇ 西山 弘敏 (松山)

少しばかりの隣地に、妻が菊、バラ等の花や野菜作りを楽しんでいる。今日は玉葱植えを手伝った。

退職後は国内一周と八八カ所参りを！の口約を守り、三年前の離職後、北海道一周から実行中。九州から近畿北陸までの自動車道は全て走行。お参りも、先日、高野山参りを済ますことができた。

今月は、県クローケー大会や町内運動会の審判を務めたが、まだ県スポレク祭審判の委嘱状が届いている。

平和と健康の有り難さ、時の短さを痛感している。

◇ 野生須 賢一 (高松)

日々、TV・VTR・電子機器をみている。でもドラマやニュースにあらず。裏返して故障カ所を診ている。

ときにはシンク罗斯コープを使うこともある。正常に戻ったときは、登山家が頂上を征服したときの気分？

TVは、三万ボルトまでの各種電圧がゴミを引き込む。VTRは目に見えないゴミが大敵。人が生産した機器は必ずなおる。人間様自身も大病院がパーツの移植を試みている。電子機器なみの成功率に早くなつてほしいものである。

◇ 浜崎 信雄 (高知)

公社退職後第二の職場に三年在職、その後六年が過ぎ去り、月日の早さを痛感しているこの頃です。

幸い今までは健康に恵まれ、殆ど無縁の保険証でしたが、今年二月、胃のポリプ切除のため初めて世話になり、また、初めて入院生活を経験しました。

たまに訪れる息子の家族四人と談笑したり、外食するのが楽しみの一つです。これからも健康維持に努め、夫婦で旅行を楽しむ等、呑気にのんびり過ごしたいと思っております。

◇ 浜田 良三 (松山)

退職して約一年後の昭和六三年六月に脳血栓でN.T.T.松山病院へ入院しました。その時の状況は左手が動かなくなり、

次に左足がだめになり、そして口を動かしても言葉になりませんでした。でも有り難いことに、後遺症もなく退院することができました。

退院後は朝起きて先ず布団を上げる。そして部屋の掃除と家の廻りや道路の掃除をする。その後は気儘に散歩をする。何からでもよい体を動かすことがりハビリになり、自分のためと思いつけております。

◇ 板東 久雄 (小松島)

平成三年に第二の職場を辞し、体調維持のため遊休地を利用、家庭菜園とし、四季折々の収穫を楽しんでいます。

一方、社協役員として、老人福祉の役割に立てばと頑張っています。

また、一〇月の東四国国体で完全民泊を頼まれ、六名を引き受けることになり、家内の手助けにと一念発起。土曜料理教室に通って腕を磨き、六泊七日を無事に終了。選手父兄よりお礼の便りを頂き感激しています。

今後この三点を継続し、少しでもお役に立てばと頑張ります。どうぞよろしく。元気でーす。

◇ 藤井 貞子 (鴨島)

退職して早一五年が過ぎようとしています。さて近況ですが、美容と健康にと三〇歳頃から始めた日本舞踊、俳句、それに数年前からちぎり絵と、多忙な主婦業をこなしながら、心身共に充実した毎

日を送っております。

他方、老化は足から言われていますので、その対策にと日常生活の中では可能な限り歩くことを心がけています。一日一万歩を目標に爽やかな汗を流しながら、趣味の上達と健康管理に努めている今日この頃です。

◇ 藤崎 亀意 (室戸)

猫の額ほどの畑のさつま芋を掘り、その後ヘニンクを植えたばかりです。

健康は先ず足からと言われていますので、毎日なるべく歩くように努力しております。その所為か慢性の膝の痛みもすっかりとれて、今のところ国保のお世話になることもなく、健康に感謝の毎日です。また、老化予防の為には手先指先を使うように心掛け、新聞は隅々まで読み保存したいコラムはスクラップブックに収録して暮らしに役立てたいと思っております。

◇ 藤原 範雄 (高知)

早いもので、退職して八年が過ぎました。健康状態は、かくしゃくと言わわけにはいきませんが、一病息災でなんとか過ごしております。

息子夫婦が共働きの関係で孫の世話や、鮎のシーズンには県下の河川へ鮎釣りに、また、退職者OBサロンへ月二回、謡曲を習いに行つて、OBの皆さんと旧交を温めております。

名刺なき人生にはいると、改めてNT

T時代の懐かしき思い出が一段と身にしみるこの頃です。それでは皆さん、お体に気をつけてご自愛ください。

◇ 松下 正 (松山)

退職後、団地の自治会長をはじめ役員を通算五年間やりましたが、そんなこともあつて、現在も自治会の主な行事にはできるだけ参加し、協力するようにしております。

また、毎年一回、団地の仲間とグループで一泊二日の小旅行に夫婦で参加するなど、人間同志のふれあいを大切に、第二の人生を退屈することなくおこなっております。

今のところは健康には特に問題もないので、暇なときは庭の芝生の手入れや草花いじりなど楽しくやっています。

◇ 松永 昭三 (徳島)

今、外国産の米の輸入問題が話題になっていますが、世の移り変わりを感じております。

NTTも想像もしなかった熾烈な競争下にあり、後輩の方々のご苦勞を目にし耳にする昨今です。私は共済会に籍を置きNTTから離れてはおりますが、皆様と同じように熱い思いを持って、NTTに声援を送っております。

お世話になった先輩の方々に感謝しますと共に、皆さまのご健康を祈っております。

◇ 真鍋 定男 (高瀬)

以前、一度投稿させて頂きましたが、昭和五六年頃から始めた、毎月の一〇日早朝に行く寺の写経会も、百五〇回になり、暇があれば、無心に筆を持つ事が習性となつて、二七八字の写経も九千巻を超えました。

稲刈りも終わり、寺より新四国曼荼羅霊場巡拝の先達を仰せつかったので、先日、バス二台で日帰りの巡拝を始めました。一年位かけて八八カ所を終え、高野参りも済ませたいと思っております。

退職後、癌の虫に棲みつかれ、四度の手術を受け、闘病と信仰のこの頃です。

◇ 三浦 正夫 (丸亀)

会員の皆様お元気ですか。第二の職場を退いて早三年五カ月になります。

お蔭様でいたって健康、元気に過ごしております。

只今は地区自治会の役員をして五年余りになります。また、親戚(甥)の造園業の手伝いをしたり、元来旅行好きで、足腰の達者な内にと、年二、三回、国内、外の旅行を楽しんでいます。

現在は、家内と二人だけの生活ですが、千葉、徳島にいる孫達の電話での話が楽しみです。年明けには、娘の家庭に新しい生命の誕生を心待ちにしている、今日この頃です。

◇ 森木 節 (伊野)



NTT松山病院院長 石戸谷 武

健康のページ



心臓の話(その四)

高齢者の循環器疾患の特殊性をふまえて

前回投稿していただいた大西徳雄(善通寺)は、大西徳雄(高瀬)の誤りでした。お詫びして訂正させて頂きます。

来年は何とか無罪放免を願ひ、残された人生、四季折々に移ろふ美しい故里の山や川を、ゆつくりと眺めて過ごしたいと願っております。

「落日燃ゆる」今日も悲喜こもごもの思いを残し、故里は静かに暮れて行きます。お尋ね有り難うございます。「光陰矢の如し」来年は古希を迎えます。

今、伊野八田地区は人口急増、小学校増築、中学校新設、八田大橋架設、高速自動車道等々を抱えており、老骨に鞭打ちながら東奔西走、地域社会活動で頑張っております。

皆様のご健勝とご多幸を祈ります。

高齢者の心臓病で日常外来でよく診るのは、高血圧(第一話)、虚血性心疾患(第二話)、弁膜症(第三話)について、本日の刺激伝導障害による各種の不整脈であります。

心臓は一定のリズムで規則正しく拍動しますが、一分間の数は年齢によって異なります。赤ちゃんの心臓の拍動数に比べると、高齢者のそれは半分以下で、一分間に六〇〜五〇回位であります。

この心臓の拍動は、大脳や身体の状態の影響を受けつつ、心臓の一定の部位から一定の自動興奮発信が起り、それが心房へ、更に心室へと拡がり、心臓収縮のリズムが出来上がるわけです。この刺激発生の最初から、最終の心室の収縮までの何処かにリズムを壊す因子が発生すると、不整脈がみられるわけであり、高齢者では若い人に比べて、不整脈の発生する割合が明らかに多くなっております。これは高齢者に高血圧や虚血性心疾患の割合が高いためと、また、これに加えて、心臓自体の予備能力や心臓の上位中枢である脳の中樞神経系機能が低下することもその一因であります。

更に高齢者は薬を服用する機会が多く、この薬物の解毒排泄の機能が落ちてくるために体内に異常に蓄積し、これが心機能に影響を与えること等々があるためであります。

さて、この不整脈には大きな特徴があります。①全く治療を必要としないものから、緊急に治療を要する危険性の高いものまで、各種あること。②自覚症状の強さと、心電図など客観的な病気の重症度合いが一致しないこと。③不整脈の出る変動が、日により時間によりまちまちであることなどあります。

不整脈を大きく分けると、一分間の脈拍数が少なく、脈と脈の間隔が開き過ぎる場合(徐脈性不整脈)と、逆に脈が速く、多くなる(頻脈性不整脈)があります。

す。

A 洞不全症候群

これは、拍動のリズムをつくり出す総元締め(洞結節)の部分からの興奮の発生や、興奮伝導の仕方の異常によって示される不整脈の総称であります。

高齢になりこの洞結節の細胞が減り、周囲組織が変化して来るとこの状態が起ります。

例えば、この時に脈と脈の間隔が二、三秒以上にもなると、この時間だけ脳への血流が途絶えるので、失神を起こし倒れることとなります。倒れないまでも、「めまい」を感じたり、「頭がふらつ」とする」等を訴える人もあります。長年高血圧を治療している人や脳梗塞に倒れたことのある人が、めまい・失神を起こすとき、この洞不全による徐脈性(ゆつくりした脈)不整脈の疑いがあることを忘れてはなりません。

この治療については、診断さえ確定すれば、ペースメーカーを植え込むことによって完全に解決されます。従って、診断確定のために、ホルター心電図(二四時間心電図)をとることが必要となります。

B 房室ブロック

この状態は、上位からのリズムを伝える神経興奮の伝播が、どこで中断されているかによって三つに分類されます(心電図上)。その中で完全房室ブロックは脈の不規則は勿論、一分間の脈拍数も三〇〜四〇回と極端に少なく、先述しためまい・失神を起こすので、ペースメーカーの植え込みが必要となります。

いずれのブロックの場合でも通常の心電図で直ちに判定され、治療の方針が決

められます。

C 発作性上室性頻拍
これは、いろいろな仕組みから起こって来る頻脈性(脈が異常に速くなる)不整脈の一つで、これが起こった時には失神を起したり、急死したりすることはありませんが、非常に苦しさを感じる動悸が起ります。薬物によって頻拍を解除したり、ゆっくりしたりリズムにするこ
とで(この時、不整脈はとれないが)症状は改善されます。

ただ基礎に心臓疾患があったりしますと、抗不整脈剤服用による副作用として起こったりしている場合がありますので、よく検査してもらう必要があります。

D 期外収縮

普通の規則的な脈の間に起こって来る脈で、胸のなかで「どっこいしょ」といった感じに起こります。上室性期外収縮は急死などの危険性もなく、症状がないなら心配ありません。

しかし、心室性期外収縮の場合は、その震源地が心室にありますので、この収縮自体による急死の危険性はないのですが、基礎にある心の病気の存在の警告的な所見として考えることが必要で、よく検査してもらう必要があります。

これまで四回にわたって、心臓の話―高年者の循環器疾患の特殊性を考えに入れて―を述べました。限られた紙面で充分にお話出来ませんでした。ながらくお読み頂きありがとうございます。

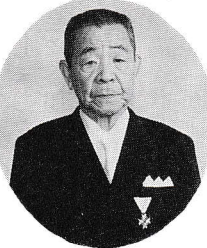


NEWS

電信電話記念日の表彰

平成五年度の電信電話記念日を迎え、長年にわたり電信電話事業の発展に尽力された次の方々へ、NTT四国支社長から感謝状が贈呈されました。
六車美一様 藤崎久夫様 坂井鬼子夫様
宮下義朝様 賀川明孝様 尾崎猪平様
野村大蔵様 三宮敏助様

秋の叙勲



平成五年秋の叙勲では、多年にわたり電気通信事業に貢献されたご功績により、香川県綾歌郡宇多津町の横山義明様が、勲六等瑞宝章を受章されました。
真におめでとございました。

余 栄 (死亡順)

正七位勲六等瑞宝章 故 村上 季隆 様 (松山)

正七位勲六等瑞宝章 故 佐藤 進一 様 (松山)

正七位勲六等瑞宝章 故 佐藤 進一 様 (松山)

ボランティア活動賞の受賞

去る一月二五日、電友会本部は京橋会館に於いて、永年にわたって地道に活躍している個人(一六名)と団体(九団体)に対し、第三回「電友会ボランティア活動賞」を贈って表彰。当日、武田会長は、ボランティア活動の社会的意義を高く評価し、今後とも積極的にボランティア活動を側面から支援する旨挨拶されました。

四国の受賞者は、点訳活動や小さな親切運動などに取り組んでおられる上田昇様(松山)と、公園等の清掃や施設の慰問などを続けているボランティアNTT松山OB会(代表者・加藤喜久男氏)、ボランティアNTT徳島OB会(代表者・地行祐助氏)の皆様でした。
なお、地域において自然保護活動、施設奉仕活動、青少年育成活動、保護司活動、手話通訳活動等のボランティア活動にトライされている方がおられましたら、各県の事務局までお知らせください。

会報に対するアンケート調査終了

編集委員会では、前回お知らせしましたように約二百名の方を抽出し、会報の内容等についてのアンケート調査をお願いいたしましたところ、百数十名の方から回答を寄せて頂きました。ご協力誠にありがとうございました。

近々、第二回編集委員会を開催して、会員の皆様に愛読して頂ける会報を目指し、更に努力したいと考えています。
(編集委員長 穴吹)

敬 弔

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



氏名	死亡年月日	享年	所属
加地 晴義様	5・8・14	71	伊予三島
竹内 茂男様	5・9・30	76	松山
北角 一好様	5・10・9	70	高松
本田 幹久様	5・10・10	65	松山
宮川武二恵様	5・10・11	86	土佐中村
田島 勝美様	5・10・16	90	高知
美吉 静子様	5・10・23	82	松山
鈴木 勇様	5・10・24	80	高知
三好 義士様	5・11・3	74	三本松
山内 武一様	5・11・3	86	高松
長尾 秀政様	5・11・7	74	松山
林 永夫様	5・11・9	74	松山
三原 長義様	5・11・10	87	松山
木村伊之一様	5・11・11	89	今治
宇野 利勝様	5・11・15	69	松山
植田 茂様	5・11・19	64	高松
清水 正人様	5・11・20	69	松山
山口 常一様	5・11・22	71	高松
阿部 安樹様	5・11・24	88	今治
梅原 安彦様	5・12・5	72	高知
島田 太郎様	5・12・9	88	高知

テルウェルだより

ゲートボール親善交流大会

なごやかに開催

高齢化社会の申し子ともいえるべき「ゲートボール競技」は、OBの皆さんの間でも愛好者が急増していますが、テルウェルでは、こうした四囲の盛り上がりに応じて、一〇月二二日、松山市に於いて「テルウェルゲートボール親善交流大会」を開催しました。

大会に参加した愛好者は、四国四県から八チーム総勢四名、いずれも腕に覚えのある一騎当千の熟年の皆さんです。主催者を代表して、福祉センターの近藤所長が「ゲートボールの交流を通じて、いっそう親睦の和を深めていただくとともに、心身ともに健康でますますご活躍されることを願っております」と挨拶し、続いて高知県チームの福原主将の力強い宣誓のあと競技に入りました。

競技は、八チームを二グループに分けて予戦を行い、それぞれのグループの一位同士で優勝戦、二位同士で三位決定戦を行うという方式で実施しました。その結果、香川県チームと愛媛Aチームとの間で覇を競い、スタートよく飛び出した香川県チームが、愛媛Aチームの懸命の追撃を振り切って、見事優勝しました。

また、第三位決定戦では愛媛Dチーム

が、遠来の徳島県チームに競り勝ちました。

「家庭介護教室」「家庭介護者

交流会」好評の内に終了

テルウェルでは、OBの皆様の強い要望にお応えして、例年一回しか開催していない「家庭介護教室」を、昨年は、一月一日と一五日の二回にわたって、NTPプラザにおいて開催しました。

当日参加された方は、東は今治から南は宇和町まで、述べ三九名でした。

この教室を受講することによって、参加者の皆さんに、介護の正しい方法を十分身につけていただくため、ベットを始め沢山の介護器具や用品を運び込み、実際に操作していただきました。

講師にお迎えした日赤の門屋先生からは、「お年寄りの看護にあたっての心遣い」、「寝たきりを防ぐための身体の動かし方」、「看護の実際」等について、キメ細かく解説していただくとともに、排泄、洗髪等日常のお世話の実際に至るまで、一人ひとりに対し手取り足取りの指導をしていただき、参加者一同、大変勉強になった。消火訓練のように、毎年受講したい。このように大変有意義な講習は、もっともっと多くの人に受けてもらいたい。等の感想が寄せられました。

また、一月一八、一九日の二日間、「ショートステイ・テルウェル愛松園」及び「拓泉荘」において開催した「家庭

介護者交流会」には、四国四県から九人の介護者が出席し、日常の介護の実態報告と言ひ知れぬ悩みや苦労話などが語り合われるとともに、世間には、まだまだ苦しい生活を送っている人々が沢山いる、勇気を出してあらゆる困難を乗り越え、力強く生きていこうとお互いに誓い合い、またの再会を約して散会しました。

余技作品展盛大に開催

来年度も開催予定

テルウエルでは、「ショートステイ・テルウエル愛松園」の開設を記念して、さる一〇月一八日から三一日迄の二週間、同園で「NTTOB余技作品展」を開催しました。

作品は、八一才を数える長谷川茂さんや織田鶴一さんを始め、四五名の方々から、洋画、日本画、書、写真、工芸、俳画、版画、グラフィックデザイン等々各部門にわたって、述べ六一点が出品されるとともに、そのレベルも到底「余技」とは思えない出来ばえで、鑑賞に訪れた人々を唖らせていました。

来場者の中には、会場での久しぶりの再会に、お互いの健在振りを称え合う姿も見られ、「余技作品展」がOBの皆様の「ふれあいの場」としての役目も果たしていました。

また、この機会に「テルウエル愛松園」の素晴らしい施設を見学し、一堂感嘆の声を上げていました。
なお、テルウエルでは、来年度以降も

毎年「余技作品展」を開催する予定ですので、多数のOBの皆さまに出品していただくよう希望しております。

お知らせ

電友会団体傷害保険の募集開始

電友会会員とご家族のための団体傷害保険の募集（広告参照）が始まりました。締切りは二月末日ですので、新たに加入される方は、各県の事務局までお申し出ください。パンフレット等をお送り致します。なお、現在加入されている方には、安田火災海上保険㈱から、近く継続加入の案内がありますので、送金等の手続きはその案内書に従ってください。

余技作品展の開催

香川電友会では、NTTOBによる余技作品展を次により開催します。ご来場をお待ちしています。

- 開催日 四月一日～一七日
- 開催場所 高松市立美術館
(高松市紺屋町一〇一四)

年金受給者の処遇に関する

陳情書の提出

私達会員の生活安定のため、次の要望事項の実現に向けて、格別の配慮をお願いしたい旨、本部は自由民主党の全国組織委員会と連立与党政策幹事会へ、地方は各県支部から関係代議士へ陳情書を提

出しました。

- 一 共済年金の職域年金部分の給付の改善を図ると共に、将来にわたり、共済年金の水準を確保していただきたい。
- 二 遺族共済年金の改善を図っていただきたい。
- 三 共済年金の年次改定は、現職公務員の給与改善率を基準としていただきたい。
- 四 共済年金にかかる従前額について、物価上昇による減価分を救済していただきたい。
- 五 年金受給者に対する公的年金等控除及び老年者に対する老年者控除の大幅引き上げを行うなど、税金を軽減していただきたい。
- 六 老年者等の小額貯蓄非課税制度及び小額公債非課税制度の非課税限度額を、更に引き上げていただきたい。
- 七 老年者の受け取る生命保険等の満期保険金の非課税限度額を大幅に引き上げていただきたい。
- 八 老年者が居住する一定規模以下の一般住宅に対する固定資産税を、大幅に軽減していただきたい。
- 九 一般住宅の相続税の緩和を図っていただきたい。
- 十 現役の人達が将来の生活に不安を感じることなく、その職務に精励することが出来よう、次の項（省略）の実現を図り自助努力を育てるための支援、奨励をするようにしていただきたい。

サークルだより

NTT・OB軟式庭球クラブ

玉木 昇(松山)



平成5年度秋季大会(11月20日)

当クラブは、NTT職域退職者で軟式庭球を愛好する者の健康増進と相互の親睦を図ることを目的として、昭和五十三年四月一日に結成されました。結成以来、既に一五年経過した訳ですが、その間、会員も逐次増加し、現在で

は三〇数名を数える迄になりました(大部分は松山市近辺在住者となっておりますが……)。

また、当クラブは愛媛県および松山市ソフトテニス連盟にも正式加盟、登録団体となっております。

ふだんの練習は、それぞれ最寄りのコートで自主的に行なうこととしておりますが、やはり堀之内の市営コートがメインとなっており、つねに一四、五名の会員が常連として他クラブのメンバーに交って汗を流しております。

なお、日頃の自主練習の成果を試すとともに親睦を深める意味で、春、秋の二回、定例的に大会を開催しておりますが、これもペアは抽選で決めるとか、総当たり形式を採るとか、あまり勝敗にこだわらず、「テニスを楽しむ」ことに主眼をおいて実施しているところであります。

とにかく、足腰の衰えを感じ出すわれわれシルバー年代にとって、とくに過激でもなく、瞬発力も養われ、また適度に頭脳に刺激も与えられる軟式庭球は最適のスポーツといえるでしょう。ラケットを握った経験のある方のご入会をお待ちしております。

本 の 紹 介

岡崎花子著「心の花束」

私達の先輩岡崎さんが、このほど「心

の花束」と題する随想録を出版された。一〇章四八節にも及ぶ労作であり、この一大壮举を心から祝福したい。

文章の内容は、健康についての心構え、先輩との関係、親しい友人、趣味の会、吟行、旅行記、史跡巡り、更には日本の伝統や平和への願い等、ご自分が経験されたことがらを飾り気なく真摯にまとめられた傑作集である。岡崎さんの教養と人間性が私達の心を打つ。



花子氏の項等は、岡崎さんの巧まない「優しさ」岡崎と「愛」が躍動している。

例えば心の太陽、花を愛する心、万葉のころ、心に花をの巧まない「優しさ」岡崎と「愛」が躍動している。また、ボランティアの項では、「近くの人々にご恩返しをすることをわすれてはいけない」とある。お元気で声かけ、頼まれなくても親切を尽くし、少しでも心がとけあうように心を使って仲良くしたい。そうすることが恩返しの一環になるだろう。その実行こそ身近なボランティアだと思ふ」等、豊かで人間味溢れるものの考え方、見方が刻まれていて、岡崎さんの日常の姿にこれを見ることが出来る思いがする。その集大成がこの本である。

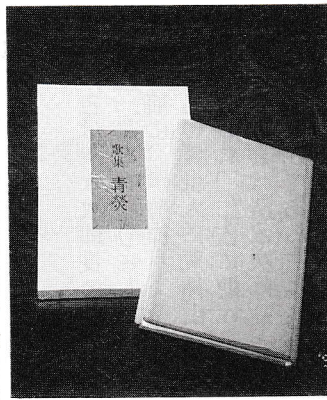
全章に著者の愛情と感謝の念が流れていて、私達に大いなる刺激と感動を与えてくれる「心の花束」である。

(付記) 有志百余名が集まり、昨年九月一日、出版記念会を開催しました。(近沢記)

白井登氏の歌集「青燐」

白井さんは、短歌歴五〇年のベテランであるが、この度、喜寿を過ぎた節目として、歌集「青燐」を出版された。

収録された作品は、昭和五年以降の一七一年間に詠まれた歌の中から五五〇首を選び、年代順に分類されているが、電電公社在職中の歌が巻頭を占めていて、



白井登著「青燐」

あの頃のさまざまな出来事が、昨日のように思い出される。その中の一首を挙げると、

交渉を拒みて個室を鎖すとき叫びて荒ぶ
若きこゑごゑ

現場の局長として、鳴門や伊予報話局の体験を歌に託したもの。あの頃、同じ苦勞をした人達は身につまされる。

著者は、「残された僅かな人生を全うする中で、この歌集を一つの踏み台として明日からの作歌にいくらかの勇気が湧

く……」と最後に語っている。
子規記念館で短歌の講師として目下ご活躍の由、ご健闘をお祈りするや切！
(穴吹記)

随想

藤山一郎さんを偲んで

高市 沖見 (松山)

国民栄誉賞に輝く、歌手の藤山一郎さんが亡くなられた。

藤山さんは大戦中、佐官待遇の軍属として、南方戦線の将兵を慰問され、ジャワ島のスラバヤ海軍司令部の幕僚室におられたが、私はたまたま司令官の伝令を務めていた関係で、復員までの二年間、大変お世話になった。

藤山さんの温厚誠実で、常に温顔を忘れぬ立派なお人柄と、美声で明るく明瞭なあの歌声、アコーデオンを弾けば、まるで大豆が転がるような、あの軽やかな指先等々が、昨日のことのように蘇る。藤山さんは、私同様甘いものが好きで、外出の度に、鍋の蓋で焼いたような薄っぺらいお粗末なカステラ(当時としては上等品)をよく買って来られたが、一枚は司令官ら数名の幕僚に、残りの一枚は二人でよく食べたものである。

藤山さんは決して驕らず、偉そうぶらず、軍人・軍属の違いがあるとはいえず、二等兵曹に過ぎない私ごとき者に、いつも「高市さん、高市さん」と大変親しく

してくださった。

終戦後は、集結地の南レンパン島で、共に土を掘り、藪を作ったりしながら、希望者には歌を教えておられたが、占領軍もよく知っているもので、慰問目的に英軍司令部へ連れてゆかれ、暫く離れ離れになっていたが、昭和二年八月、ジャワ島最後の復員船が、広島県の大竹港に入港するまで、ご一緒することになった。

お陰で、船内には毎日毎日、藤山さんの明るく爽やかな歌声が流れ、悄然たる復員軍人が、どれほど勇気づけられたことか計り知れないものがあつた。

いくらお側で親しくしていただいても、歌の真似などはさっぱり出来ないが、少しでもお人柄にあやかりたいものと、常々尊敬していた藤山さんのご冥福を、切に祈念申し上げる次第です。

殿様と任侠の町

猪谷 嘉夫 (豊川)

梅雨の晴れ間のある日、愛知県中央部の海岸にある吉良という町を訪れた。今では何の変哲もない田舎町に過ぎないが、江戸時代に片や大名の吉良上野介と一介の任侠、吉良の仁吉にまつわる物語がある。

仁吉はこの地の産だが、上野介は吉良に領地を持っていただけ。赤穂浪士からは悪の親玉の如く狙われていた上野介も、領地の治水灌漑に意を用い領民を安堵さ

せていたので、領民からは名君と仰がれていた。

このような経緯から、主君の怨みをはらした赤穂浪士も、当時の武士道からすれば、切腹を命ぜられるべきではなかったが、討った相手が名君と称されていたので、切腹という結果になったのが真相のようである。

上野介の菩提寺を訪れたが、寺の境内の一遇に、「行く春や憎まれながらも三百年 鬼城」という句碑が建っていた。上野介の身上を率直に謡っているようである。

吉良の仁吉は清水次郎長の客分となつて、西三河一帯を縄張りしていた。明治改元の直前に、伊勢神戸（鈴鹿市）の長吉が、桑名の渡世人に荒神山（鈴鹿市）の縄張りを奪われ、仁吉に助けを求めてきた。義侠の仁吉は清水次郎長と共に、荒神山（小高い丘である）に乗り込んで奪回の大喧嘩になり、決闘は仁吉方の勝利に終わったが、仁吉は死に長吉も斬死にした。この大喧嘩は一時「血煙り荒神山」と題して浪曲や講談の語り草となったが、今では余りはやらない。

吉良町にある仁吉の菩提寺には、仁吉と子分達の墓があるが、これは後日、清水次郎長が仁吉の義侠を偲んで建立したものである。道理で整然と三列に並ぶ多数の墓は、あたかも記念写真でも撮るような形で、いずれも同じ規格で中央の少々大きいのが仁吉のもの、その他は子分達のものようである。（七、二七記）

俳句 やまもも句会（高知）

郭公や袖が緋く民権史 大西 瓶子

野分めく夕べ蜘蛛糸張り急ぐ 井上ひろし

忠魂碑草に沈みて昼の虫 田中 兼尾

岬山に鳴鳴き病まだ癒えず 田中幾久子

神の庭土俵廻りも草の花 竹山 りつ

外に出てて木犀の香のそこはかと 田内 千代

軒先を飛ぶ鳥の影秋暑し 野村 俊

神の山水に影おき秋ざくら 安村 淑

名水の抹茶いたたく萩の寺 井上すみ子

時化後のコスモス花をつけにけり 池田 寿子

颱風の塩害桜の返り咲き 岡崎 花子

目覚めて雨の音きく夜長かな 小笠原芳子

産土の新装ゆかしく秋気澄む 尾崎 由子

一山の全容照らし月渡る 押岡 里香

茹で栗を食べてとどまること知らず 関田 繁子

表紙の言葉

戌年 莊野 丹秀（内海）

十二支の一番目。時間では午後八時及びその前後。方角では西北西。そんな事を考えながら描き上げた。人間からもっとも愛される動物である。

編集後記

あけましておめでとうございます。本年も皆様にとりまして良き年でありませう、心からお祈り申し上げます。新年号は、予算を気にしながら「私は今」の欄に力を入れてみました。（愛原）

原稿募集

- 一 近況短信（二百字程度）
 - 二 短歌、俳句、川柳
 - 三 サークルの活動状況等（写真可）
 - 四 随想等（八百字程度）
- 〆切は二月末日です。会員多数からの投稿をお待ちしています。

四国電友会会報 第八五号
 平成六年一月一日
 編集発行 電友会四国地方本部
 松山市一番町四ノ三
 NTT四国支社内
 電話（公）三三三三
 電話（宅）三三三三
 四国電話印刷株式会社
 印刷

電友会保険制度のご案内

生命・傷害セット保険

1. 満75歳までの方が新規にご契約でき、最高80歳まで保障いたします。
2. 保険期間は5年で、5年毎の契約更新が可能です。
3. 一括払いと年払いがあり、満期時には満期金+配当金がお手元に戻ります。
4. ほとんどの病気とケガが対象です。
5. 告知書に記入していただくだけで、医師の診査は不要です。

—ご契約は随時—

お問い合わせにつきましては

募集代理店 日比谷会「お客様御相談係 稲森・黒澤」まで御連絡下さい。

フリーダイヤル **0120-118265** (無料)

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-24-1 ヴィニア千駄ヶ谷

*お問い合わせ頂きましたお客様には、詳しい資料をお届けしております。

団体傷害保険

1. ケガ専用の保険です。
2. 1日の通院、1日の入院でもお支払いいたします。
3. 一般でご加入されるより約15%も高額補償となっております。
4. ご加入時の医師の診査は不要です。
5. 個人コースは5,000円夫婦コースは10,000円の掛け捨てタイプです。
6. 保険期間は平成6年4月1日から1年間です。

お申込み締切 平成6年2月末日

お問い合わせにつきましては

安田火災海上保険 **03-3349-4766**

〒160 東京都新宿区西新宿1-26-1

市外が、おトク。一日中、おトク。



「テレワイズ」



そして、私はテレワイズ。

四分の一世紀ほど過ごしたサラリーマン生活に
終止符を打って、五十歳をスタートとする新しい暮らし
が始まりました。
じっくりと学習し、ゆっくりと考えることのできる日常を
つくりたいと願っています。
それでも生活が変わると想像以上にあわただしいものです。
ビジネスの渦中にいた時と同じ位、
人と会い、交信することが多い昨今です。
始めたことがたくさんあります。
話したい人がたくさんいます。
場所の隔たりに関係なく、長話をしたいと思います。
何度となく連絡をとりたいと思います。
お付き合いの広がりや密度の濃さを、暮らしの充実と
豊かさにつなげたいと期待しています。

テレワイズ第1号。小椋 佳

市外通話をたくさんかける人に。
NTTのおトクな市外通話割引サービス開始。

- 市外通話が毎月一定額のお支払いでおトクになる、市外通話料金の割引サービスです。
- 昼間、夜間を問わず、一日中いつかけても割引になります。

●お申し込み・お問い合わせは

よくみておトク
専用フリーダイヤル  0120-493019 (9:00~20:00・毎日)
116番(9:00~17:00・月曜~金曜) 営業窓口(9:00~16:00・月曜~金曜)